

令和 2 年度 名寄市地域公共交通活性化協議会の主な開催経過について

	年月日	内 容
協議会の開催	R2. 5. 15	第 1 回名寄市地域公共交通活性化協議会【書面開催】 ・令和 2 年度名寄市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
	R2. 12. 3	第 2 回名寄市地域公共交通活性化協議会 ・デマンド交通及びUDタクシーの事業評価について ・次年度の公共交通利用促進策（案）について ・名士バス風連線について
専門部会の開催		(新型コロナウイルス感染症の影響により開催できず)
市内線の実証運行・公共交通等の状況	—	名寄線代替バス利用促進事業「名寄ー遠軽 1 日乗車無料」【中止】
	—	名寄線代替バス利用促進事業「期間限定パスポート」【中止】 ・2 日間乗り放題（大人 3,000 円/人） ・3 日間乗り放題（大人 4,200 円/人）
	利用促進事業 周知・PR事業	コミュニティバス運行の市内周知 ・大学オリエンテーリングでのバス利用説明【中止】 ・転入者、大学新生へ無料券の配布 広報誌面を用いた市民周知 ・広報 7 月号「公共交通を守っていくために」

名寄市地域公共交通網形成計画の 施策実施状況について

令和3年5月
名 寄 市

名寄市地域公共交通網形成計画の施策実施状況

【特記事項】 名寄市地域公共交通網形成計画における各基本方針と対応する施策の年度毎進捗状況を記載。矢印点線が「計画策定時における検討」、矢印実線が「計画策定時における実施」を表す。

基本方針・施策		2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2021(R4)年度	2021(R5)年度
基本方針1:利用者ニーズを踏まえた持続可能な公共交通サービスの提供						
1	バス運行ダイヤの柔軟な見直し		・興部線及び下川線ダイヤ見直し協議(令和2年9月1日改正) ・恩根内線ダイヤ見直し協議(令和3年3月13日改正)			
2	市内交通のJRや準幹線路線等へのダイヤの結節		・上記検討とあわせて今後も必要に応じて柔軟に検討			
3	人口が多い地区における停留所の見直し	・豊栄区町内会いなほクラブ役員会にて聞取実施 ・麻生親睦クラブ会合 ・西町3区町内会役員会にて聞取実施 ・聞取結果を地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(特段見直し不要となる)	・今後も必要に応じて柔軟に検討			
4	路線バス及びタクシー乗務員確保に向けたPR・募集の取組み	・路線バス運転体験合同就職相談会の開催を市HPに掲載	・路線バス運転体験合同就職相談会の開催を市HPに掲載 ・今後も必要に応じて柔軟に検討			
5	商業施設等の屋内でのバス待ち環境創出	・地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(現状維持となる)	・今後も必要に応じて柔軟に検討			
6	交通結節点等における公共交通情報提供	・地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(引き続き検討となる)	・今後も必要に応じて柔軟に検討			
基本方針2:ICT等の活用による公共交通サービスの拡充と情報の高度化						
1	バスロケーションシステムの導入検討	・バス事業者へ実施検討依頼の実施(検討依頼するも実現に至らず)	・様々な手法や可能性について継続して情報収集			
2	路線バス・デマンドバスの交通系や商業系ICカードの導入検討	・名寄市内部にて検討	・様々な手法や可能性について継続して情報収集			
3	路線バス・デマンドバスの公共交通の事前決済の導入検討	・名寄市内部にて検討	・様々な手法や可能性について継続して情報収集			
4	デマンドバスの予約アプリの導入検討	・名寄市内部にて検討	・様々な手法や可能性について継続して情報収集			
5	スマートフォンアプリでの予約配車の促進	・名寄市内部にて検討	・様々な手法や可能性について継続して情報収集			

名寄市地域公共交通網形成計画の施策実施状況

【特記事項】 名寄市地域公共交通網形成計画における各基本方針と対応する施策の年度毎進捗状況を記載。矢印点線が「計画策定時における検討」、矢印実線が「計画策定時における実施」を表す。

基本方針・施策		2019(R1)年度	2020(R2)年度	2021(R3)年度	2021(R4)年度	2021(R5)年度
基本方針3:交通空白地における地域の足の確保						
1	デマンドバス・乗合タクシー・タクシー等を活用した地域の足の確保策の検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(引き続き検討となる) 地域連絡協議会代表者会議にて説明及び提案 智恵文地区ブロック長会議にて説明及び提案 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な手法や可能性について継続して情報収集 智恵文各ブロック長へ移動困難者への聞き取り調査依頼(主に医療バスによる移動がなされている) 			
2	定額タクシー等利用者が利用しやすい運賃制度の検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(引き続き検討となる) 地元事業者へ意向調査を実施(書面) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な手法や可能性について継続して情報収集 実施意向のある事業者を交えて議論(実施は困難であることが確認された) 			
基本方針4:過度な自動車利用脱却に向けた安全・安心な移動の実現						
1	高齢者向け冊子の作成	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会にて内容検討し作成済 	<ul style="list-style-type: none"> 窓口来訪者等に配布 			
2	老人クラブ等への出前講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 名寄ピヤシリ大学第2回「公開講座」 瑞生老人クラブ 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できず 			
3	免許返納者へのインセンティブの検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(引き続き検討となる) 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な手法や可能性について継続して情報収集 			
4	新入生向け出前講座の実施	<ul style="list-style-type: none"> 名寄大学オリエンテーリング 	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響により実施できず 			
5	公共交通利用者への運賃負担や乗車証明によるサービスの検討	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会専門部会にて検討(検討されたが予算化に至らず) 	<ul style="list-style-type: none"> 地域公共交通活性化協議会にて検討(検討し予算化に向けて調整中)※スタンプラリー 			

名士バス風連線の状況について

令和3年5月
名士バス株式会社 ・ 名 寄 市

名士バス風連線の状況について

【概要】

近年バス利用者の減少が続いている名士バス風連線について、路線の維持を目的として利用者数の向上や効率の良いダイヤの検討を今後行おうとするものです。※名士バスと名寄市の共同提案

【現状と課題】

名士バスが運行する風連線については、ふうれん道の駅から市立総合病院を經由して名寄駅に向かう広域のバス路線です。近年はバス利用者の減少が続いており、平成30年10月からは利用の少ない一部区間をデマンド交通化するなど対応してきました。

名士バスの課題：令和元年バス事業年度において北海道の補助金の対象外となった。

名寄市の課題：令和元年度に北海道の補助金の対象外となったことに伴い、自治体負担額が大きくなった。

【令和2年バス事業年度と直近の利用状況】

名士バスが運行する風連線の令和2年バス事業年度の輸送人員は12,713人となり、令和元年バス事業年度の輸送人員と比較すると、2,691人の減、約17.5%の減となりました。

また、令和2年10月から令和3年3月までの直近の利用状況については、半年間で約6,400人の利用となっており、令和2年バス事業年度と同水準で推移しています。

【参考：バス事業年度別乗車人員】

路線名	R1年度 (H30. 10-R1. 9)	R2年度 (R1. 10-R2. 9)	R3年度 (R2. 10-R3. 9)
風連線	15,404人	12,713人	6,402人 (R3. 3月までの6か月)
増減	—	▲2,691人 (▲17.5%)	

【考察】

現時点の利用状況から考察すると、新型コロナウイルス感染症の影響が大きい中で昨年度と同水準の利用があるため、通院や通学、買い物といった日常生活に必要な移動が占めていると考えられます。

現状では利用状況は少ないものの、生活に欠かすことのできない移動手段を引き続き確保する必要があると考えます。

【利用者増加に向けた取組】

名士バスにおいて、効率的なバス路線の見直しや、利便性向上を目的としたGPSの導入などを検討いただいたところですが、課題が多く実現していない状況にあります。

【目指すべき方向性】

新型コロナウイルス感染症の収束後においても、利用者の買い物や通院といった市民生活を維持確保するため、新規需要の掘り起こしや効率の良いダイヤ検討の議論などを行うことにより、「生活の足」としての地域公共交通の確保を目指す。

名寄市におけるバス路線の維持に要する経費について

令和3年5月
名 寄 市

名寄市におけるバス路線の維持に要する経費について

路線名	令和2年度助成金額	運行事業者名	年間輸送人員
恩根内線	5,498,000円	名士バス	47,529人
下川線	3,511,000円	名士バス	28,050人
興部線	6,061,000円	名士バス	50,949人
名寄線	5,722,000円	道北バス	161,307人
下多寄線	3,691,600円	名士バス	2,440人
御料線	3,219,700円	名士バス	1,893人
風連線	4,463,000円	名士バス	12,713人
中多寄線	4,643,000円	士別軌道	2,942人
日進ピヤシリ線	10,113,000円	名士バス	12,641人
コミュニティバス	9,938,000円	名士バス	32,139人
合計	56,860,300円		

※恩根内線、下川線は国のコロナ対策後の支出額

名寄市の令和3年3月末人口は26,708人なので、バス路線の維持に係る市民一人あたりの負担額は約2,129円/年となりました。



令和3年度事業計画（案）

住民の生活に必要なバス等の旅客輸送の確保その他旅客の利便性を図り、地域の実情に即した輸送サービスの実現を図るため、次の取り組みを進めていきます。

- 1 公共交通利用促進策（スタンプラリー）の実施
- 2 名寄市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定
- 3 名寄市生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の策定（随時）

令和 3 年度収支予算（案）

〔歳入〕

（単位：円）

科目	前年度 決算額 A	本年度 予算額 B	対比 B-A	摘要
補助金	0	300,000	300,000	
国庫補助金	0	0	0	
名寄市補助金	0	300,000	300,000	地域公共交通活性化協議会補助金
参加費用	0	5,000	5,000	市内バスを用いたスイーツスタンプラリー参加費用
計	0	305,000	305,000	

〔歳出〕

（単位：円）

科目	前年度 決算額 A	本年度 予算額 B	対比 B-A	摘要
会議費	0	0	0	
事務費	0	0	0	
事業費	0	305,000	305,000	市内バスを用いたスイーツスタンプラリー
計	0	305,000	305,000	

公共交通利用促進策 「市内バスを用いたスイーツスタンプラリー」について

【概要】

市民の皆様へバスの利用促進とバスを身近に感じていただくことを目標に、バス事業者等の協力をいただきながら、バス路線を利用した利用促進策として「市内バスを用いたスイーツスタンプラリー」を実施いたします。

この「市内バスを用いたスイーツスタンプラリー」は、参加者が市内バス路線をいくつも乗り継いで、地元企業の和菓子・洋菓子店をめぐり、各店舗に設置されたスタンプを5つ以上押して、時間内にゴールの「なよろ温泉サンピラー」を目指すイベントです。

【考察】

各市内を運行する市内バス路線は豊富にあることに着目し、バスを乗り継いで行うスタンプラリーは有効と考える。

スタンプラリーを通じて、路線図と時刻表を「読む力」を培うことは今後のモビリティマネジメントを行うあらゆる面で重要と考える。

【目指すべき方向性】

このイベントをきっかけに、これまでバスを利用してこなかった方々へ新規需要の掘り起こしを図る。

定期的な実施により、これまで意識されていなかったバス路線について広く認知いただく。

【KPI】

バス利用者数の維持

(風連線・コミュニティバス・日進ピヤシリ線・徳田線・テマンドバス) ※網計画68Pより
H29: 21万人 → R5: 21万人

【基本情報】

開催日: 令和3年9月20日(予定)
集合場所: 駅前交流プラザ「よろーな」
参加人数: 50人程度
参加費: 100円(別途運賃は負担)
予算規模: 300,000円

【タイムテーブル】

09:00 受付開始、参加賞配布
09:00-09:30 移動行程の作戦立案
09:30-10:00 開会、ルール説明、バスの乗り方説明
10:00- 各自出発(5か所以上めぐり)(出発地: よろーな)
-16:00 この時間までにゴールして解散、ゴール賞配布、アンケート配布(到着地: サンピラー温泉)

【参加賞】

- 焼き菓子2~3つ程度(250円相当)
- 各事業者より提供のノベルティ
→ タオル、マスクカバー等
- 【ゴール賞】※5か所以上めぐることが条件
- 入浴とくたくたくバック+ソフトクリーム
※抽選で10名の方に、お菓子詰め合わせ(3千円相当)をプレゼント
- 【残念賞】※5か所めぐらずにゴールした場合
- ひまわりサイダーなど

【スタンプラリーのイメージ】

- 各店舗では、お店の方がスタンプを押した後に商品(各店舗のお菓子など)を1つ参加者に渡していく。
- 風連地区の店舗は長距離ボーナスとしてスタンプ2倍! お菓子も2倍!

【専門部会の役割】

- イベント案内前に、行程に無理がないか専門部会のメンバーにて検証いただき、フィードバックを得る予定です。



実施については新型コロナウイルス感染症の状況を見極めた上での判断となります。

公共交通利用促進策

「市内バスを用いたスイーツスタンプラリー」 予算書

〔歳入〕

(単位：円)

名称	金額	摘要
参加費	5,000	50人×100円
広告料	0	各バス事業者より
名寄市補助金	300,000	
その他	—	北海道バス協会：マスクケース 各バス事業者：ノベルティ等（調整中）
計	305,000	

〔歳出〕

(単位：円)

名称	金額	摘要
事業費	305,000	※兄弟の参加等による微増を見込んで積算
保険料（レク用保険）	1,100	他事業より参考
参加賞（焼き菓子2～3つ）	16,500	
スタンプラリー用台紙（特厚・白）	1,000	
スタンプラリー用スタンプ（別注・デザイン料込）	15,000	
スタンプラリー用スタンプマット、スタンプ台	5,000	100均周辺で調達
スタンプラリーチェックイン用お菓子代金	66,000	1人6か所回ることを想定
スタンプラリーチェックイン用お菓子代金（風連地区2倍用）	12,000	20人程度の挑戦を見込む
クリップボード（時刻表等を挟む文具）	16,500	
ペン（フリクション型：2色ペン）	24,200	フリクションボール2を参考
メモ帳（行程を書き込む用途）	6,050	100均周辺で調達
ゴール賞景品代（入浴得々パックA+ソフトクリーム）	71,500	
特別賞（ゴールした方で抽選で10人の方へ）	30,000	後日配達
残念賞景品代（ひまわりサイダー）	3,200	20人程度を想定
広告料（FMラジオ）	8,000	他事業より参考
ポスター作成、乗り方ガイド印刷他事務消耗品	28,950	カラートナー等
計	305,000	

市内バスを用いたスイーツスタンプラリー実施要綱（案）

1. 目的

本事業によりバスに対する理解を深めてもらうとともに、市民のバス利用促進を目的とする。

2. 開催日

令和3年9月20日（月）（バスの日）（仮）

3. 定員

50人程度

4. 参加費

100円 ※バス運賃別途必要

5. 事業内容

市内バス路線を利用し、参加店舗のうち5か所以上のスタンプを集め、なよろ温泉サンプラーを目指す。参加者には参加賞及びゴール賞、参加店舗にてお菓子を配布する。

（1）タイムテーブル

9：00 駅前交流プラザ「よろーな」受付開始

9：30 開会、ルール説明、バスの乗り方等説明

10：00 各自出発

↳ 参加店舗5か所以上めぐりゴール（なよろ温泉サンプラー）へ

16：00 終了

（2）参加店舗

地元企業の和菓子・洋菓子店を想定（協議会承認後に各企業へ参加意向等を伺う予定です）

6. 募集開始時期

令和3年8月2日（予定）※受付方法は別途検討

7. その他

新型コロナウイルス感染症の拡大状況によっては、開催を延期又は中止する場合があります。

名寄市地域内フィーダー系統確保維持計画

令和3年5月

名 寄 市

1 地域公共交通確保維持事業に係る目的・必要性

(1) クルマを持たない市民でも移動可能な交通システムの確保

名寄市では、クルマを所有していない市民も数多く存在しているため、誰もが移動可能な「地域の交通手段」が必要となっており、特にクルマを持たない市民の割合としては、学生や高齢者の割合が多く、クルマを持たない市民でも「買い物」や「通院」、交通結節点へのアクセス等に困らない交通手段を確保する事が求められている。

(2) 地域の特性に応じた交通システムの確保

フィーダー系統確保維持計画を策定する下多寄線、御料線沿線は、住居が低密度に広く分散しているため、公共交通機関を利用できない、利用しづらい交通空白地域が存在している。地域内には高齢者が居住していることが多く、福祉的な側面からも公共的な交通システムを確保することが求められている。

一方、市街地では利用頻度の高いスーパーマーケットや病院、公共施設等を結ぶ運行形態が求められている。

また、平成 23 年 11 月より運行している下多寄線デマンドバス線や、平成 30 年 10 月より運行している名寄地区と風連日進地区を結ぶ風連御料線の一部デマンドバス化により、地域内に所在する JR 名寄駅、風連駅と交通空白地帯の居住地を結節する事により、市外とのアクセス向上を図ることで交通ネットワーク形成を行い、「通院」、「通学」等市街地との連絡に必要な交通手段の確保としても、継続した運行を行う必要がある。

2 地域公共交通確保維持事業の定量的な目標・効果

(1) 事業の目標

「地域の交通手段」としての役割を担うとともに、地域内に所在する JR 名寄駅、風連駅へ結節する事で、市外とのアクセスが向上し、交通ネットワークを形成する事が可能となる。

○デマンド型交通の利用者数向上指標

下多寄線デマンドバス	直近の実績 (R2. 4~R3. 3) 170.5 人/月	次期計画の目標 (R3. 10~R4. 9) 270 人/月以上
御料線デマンドバス	直近の実績 (R2. 4~R3. 3) 139.2 人/月	次期計画の目標 (R3. 10~R4. 9) 200 人/月以上

利用者数向上の指標については、新型コロナウイルス感染症の影響から、利用者の大幅な増加は見込めないが、まずは現状以上の利用者向上を目指す。

○デマンド型交通の利用者満足度の向上

下多寄線デマンドバス	直近の実績 (R3. 4 実施) 100.0%	次期計画の目標 (R3. 10~R4. 9) 100.0%
御料線デマンドバス	直近の実績 (R3. 4 実施) 100.0%	次期計画の目標 (R3. 10~R4. 9) 100.0%

利用者のアンケート調査を令和 3 年 4 月に実施し、デマンド交通の利用者満足度は下多寄線デマンドバス並びに御料線デマンドバスともに 100.0%となった。依然として外出が自粛されがちな中で調査のため、アンケート総数は少ない結果となったが、引き続き利用者ニーズを反映し満足度の向上を目指す。

(2) 事業の効果

名寄市郊外部はバスの乗車人数が少なく、定時定路線型の路線バスでは非効率的な運行となり、本数も限られるため、サービスレベルが低下すると考えられる。また、高齢者はバス停留所までの距離に対して移動負担を感じており、デマンド型交通を導入する事で戸口への細やかなサービス提供を行うとともに、郊外部の交通空白地域を解消し、「買い物」や「通院」等の日常生活に必要な「地域の交通手段」を提供することができる。

3 2の目標を達成するために行う事業及びその実施主体

デマンド交通利用者アンケート調査を実施し、利用者ニーズの実態を把握することで、地域住民がより利用しやすい運行となるよう努めていく。(実施主体：名寄市・運行事業者)

4 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表1」を添付

5 地域公共交通確保維持事業に要する費用の負担者

名寄市から運行事業者への委託料については、運行収入見込額及び国庫補助金見込額を運行経費見込額から差し引いた差額分を委託料とし負担することとしている。

6 補助金の交付を受けようとする補助対象事業者の名称

下多寄線デマンドバス 名士バス株式会社
御料線デマンドバス 未定(令和3年6月入札)

7 補助を受けようとする手続きに係る利用状況等の継続的な測定手法

運行事業者を補助対象事業者としているため記入対象外

8 別表1の補助対象事業の基準二ただし書に基づき、協議会が平日1日当たりの運行回数が3回以上で足りると認めた系統の概要

該当なし

9 別表1の補助対象事業の基準ハに基づき、協議会が「広域行政圏の中心市町村に準ずる生活基盤が整備されている」認めた市町村の一覧

該当なし

10 生産性向上の取組に係る取組内容、実施主体、定量的な効果目標、実施時期及びその他特記事項

該当なし

11 外客来訪促進計画との整合性

該当なし

1.2 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表5」を添付

1.3 車両の取得に係る目的・必要性

下多寄線を運行するバス車両については、耐用年数5年を大幅に上回る12年が経過しており、また、令和3年3月末における走行距離数が28.6万kmに達するなど老朽化が進んでおり、利用者の安全な輸送を確保するためにワゴン車を1台購入する必要がある。

1.4 車両の取得に係る定量的な目標・効果

(1) 定量的な目標

下多寄線の運行日数を300日以上（令和2年バス事業年度：314日）とする。

下多寄線の利用者数を2,400名以上（令和2年バス事業年度2,440人）とする。

(2) 定量的な効果

下多寄線を維持することにより、地域内に居住する自家用車を所有していない市民の日常生活に必要不可欠な移動手段が確保される。また、幹線・支線のネットワークが連携することで、効率的な運行体系が実現できる。さらには、外出促進や地域活性化にもつながることで当該地域住民の健康寿命の延伸やQOLの向上が図られる。

1.5 車両の取得計画の概要及び車両の取得を行う事業者、要する費用の負担者

地域公共交通確保維持改善事業費補助金交付要綱「表6」を添付

1.6 老朽更新の代替による費用の削減等による地域公共交通確保維持事業における収支の改善に係る計画

公有民営方式車両購入費国庫補助金を受けて車両の取得を行わないため該当なし

1.7 協議会の開催状況と主な議論

開催状況	主な議論
令和2年度 第1回 地域公共交通活性化協議会 【令和2年5月29日開催】	1.名寄市地域内フィーダー系統確保維持計画の策定について
令和2年度 第2回 地域公共交通活性化協議会 【令和2年12月3日開催】	1.デマンド交通の事業評価について 2.UDタクシーの事業評価について 3.次年度の公共交通利用促進策（案）について 4.名士バス風連線について
令和3年度 第1回 地域公共交通活性化協議会 【令和3年5月20日開催】	1.名寄市地域内フィーダー系統保持計画の策定について 2.名寄市生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）の策定について 3.公共交通利用促進策（スタンプラリー）について

18 利用者等の意見の反映状況

○下多寄線

平成 22 年 10 月に地域説明会を開催し、平成 23 年 1 月には市街地住民アンケート及び地方バス路線利用者アンケートを実施するなど、利用者及び地域の声を計画に反映している。

運行後については、平成 26 年から毎年、利用者に対するアンケート調査を行い、利用者ニーズを反映させた指定場所の変更を行っており、平成 31 年 4 月からはデマンドバスの利用範囲を地域外住民も利用可能としている。今後も適宜アンケート調査の実施や OD 調査の実施により、利用者ニーズの把握をするとともに利便性の向上に努めていく。

○御料線

平成 29 年 12 月から 2 か月間の実証運行を実施するにあたり、平成 29 年 6 月より地域説明会を開催しているほか、平成 30 年 2 月には利用者アンケートを実施するなど利用者や地域の声を計画に反映している。

今後も適宜アンケート調査の実施や OD 調査の実施により、利用者ニーズの把握し利便性と満足度の向上に努めていく。

19 協議会メンバーの構成員

構成員	構成員名称
市民及び交通利用代表者	公募市民 名寄市町内会連合会 名寄市老人クラブ連合会 名寄市 P T A 連合会 名寄市社会福祉協議会 名寄市立大学 学生自治会 名寄商工会議所 風連商工会 住民ニーズに基づいた公共交通のあり方研究会
行政機関の代表者	北海道運輸局旭川運輸支局 北海道開発局旭川開発建設部士別道路事務所 北海道上川総合振興局地域政策部地域政策課 上川総合振興局旭川建設管理部士別出張所 北海道警察旭川方面名寄警察署
一般旅客運送事業者の代表者	北海道旅客鉄道株式会社 旭川支社名寄駅 名士バス株式会社 三浦自動車有限会社 名寄交通株式会社 有限会社川原観光 道北バス株式会社
一般旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体の代表者	日本私鉄労働組合総連合会北海道地方労働組合 名士バス支部
副市長	名寄市

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 名寄市大通南1丁目1番地

(所 属) 名寄市総合政策部総合政策課

(氏 名) 主査 成田 拓哉

(電 話) 01654-3-2111 内線 3312

(e-mail) narita-takuya@city.nayoro.lg.jp

表1 地域公共交通確保維持事業により運行を確保・維持する運行系統の概要及び運行予定者(地域内フィーダー系統)

令和4年度

市区町村	運行予定者名	運行系統名 (申請番号)	運行系統			系統 キロ程	計画 運行 日数	計画 運行 回数	再 編 特 例 措 置	地域内フィーダー系統の基準適合 (別表7及び別表9)			
			起点	経由地 営業区域	終点					運行態様 の別	基準口で 該当する 要件	接続する補助対象 地域間幹線系統等 との接続確保策	基準二で該当 する要件 (別表7のみ)
名寄市	名士バス株式会社	(1) 下多寄	下多寄	名寄市内	名寄駅	往 km 復 km	365 日	2,319.0 回		区域運行	②(1)	興部線(名士バス)・名寄線(道北バス)、JR名寄駅・風連駅に接続する。	③
	(未定)	(2) 御料	風連日進	風連町内	道の駅なよろ	往 km 復 km	365 日	2,555.0 回		区域運行	②(1)	風連線(名士バス)・名寄線(道北バス)、風連駅に接続する。	③
						往 km 復 km	日	回					
						往 km 復 km	日	回					
						往 km 復 km	日	回					

(注)

1. 区域運行の場合は、運行系統の「経由地」に営業区域を記することとし、「系統キロ程」について記載を要しない。
2. 「系統キロ程」については、小数点第1位(第2位以下切り捨て)まで記載すること。なお、循環系統の場合には、往又は復のどちらかの欄にキロ程を記載し、もう片方の欄に「循環」と記載すること。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けて補助対象となる場合のみ「○」を記載する。
4. 「運行態様の別」については、路線定期運行、路線不定期運行、区域運行の別を記載すること。
5. 「接続する補助対象地域間幹線系統等と接続確保策」については、地域内フィーダー系統が接続する補助対象地域間幹線系統又は地域間交通ネットワークと、どのように接続を確保するかについて記載する。
6. 本表に記載する運行予定系統を示した地図及び運行ダイヤを添付すること。

表5 地域公共交通確保維持改善事業を行う地域の概要

市町村名	名寄市
------	-----

(単位:人)

	人 口
人口集中地区以外	10,169
交通不便地域	29,048

交通不便地域の内訳

人 口	対象地区	根拠法
29,048	名寄市	過疎地域自立促進特別措置法

地域公共交通網形成計画、地域公共交通再編実施計画の策定年月日

計画名	策定年月日	算定式適用開始年度
名寄市地域公共交通網形成計画	令和元年5月29日	令和2年度

(※参考)

対象人口	算定式	国庫補助上限額
29,048	$29048人 \times \times + 万円 = 0千円$	0千円

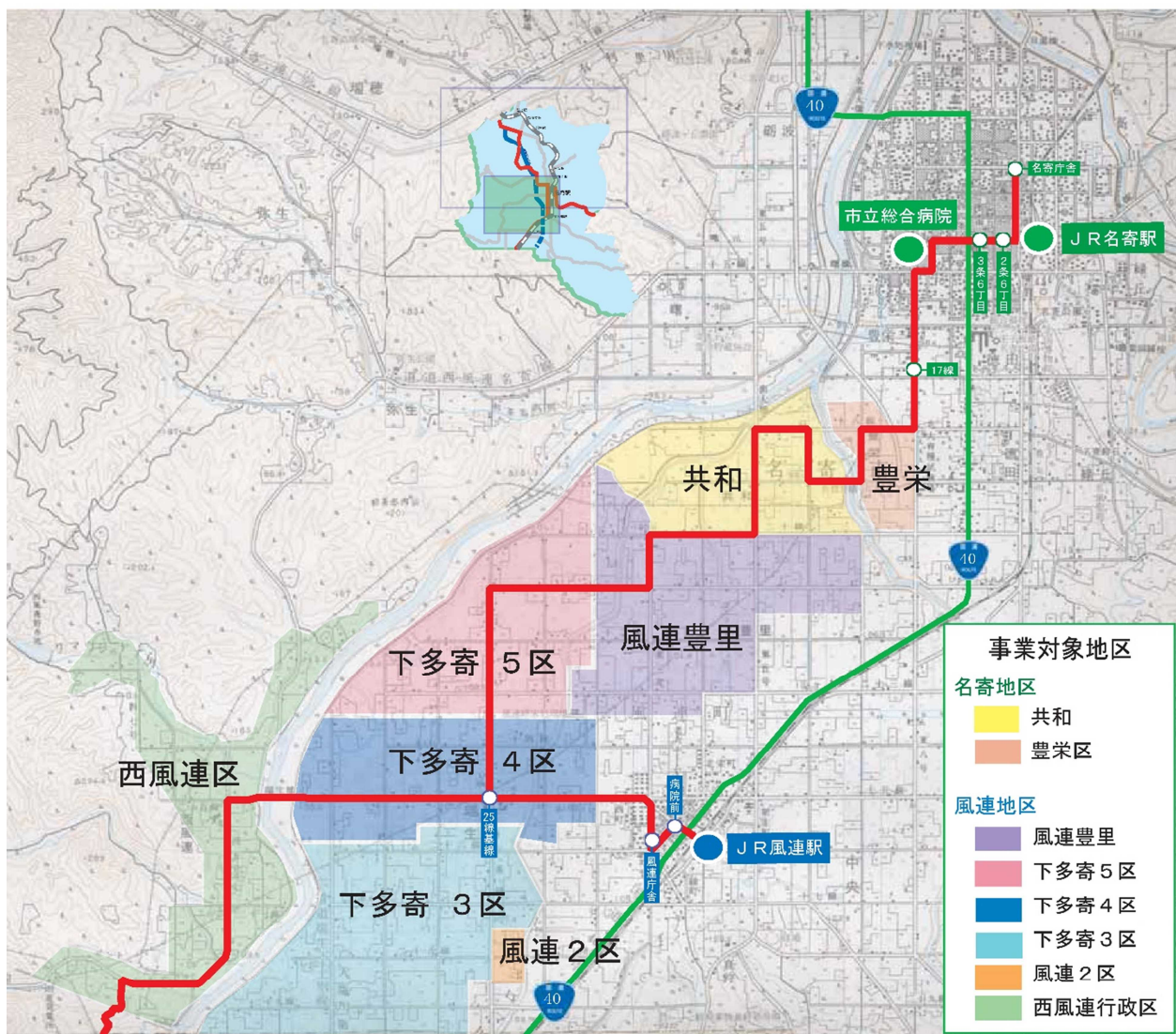
表6 車両の取得計画の概要(地域内フィーダー系統)

市区町村	バス事業者等名	申請 番号	運行の用に供する 補助対象系統名 (申請番号)	補助対象車両の種別			乗車 定員	購入年月	再編 特例 措置	購入等の種別
				イ	ロ	ハ				
名寄市	名士バス株式会社	1	() 下多寄線	小型車両			14	令和3年10月		一括
		2	()							
		3	()							
		4	()							
		5	()							

(注)

1. 「補助対象車両の種別」については、イ欄にノンステップ型、ワンステップ型又は小型車両の別を、ロ欄にスロープ付き又はリフト付きの別を、ハ欄に標準仕様(ノンステップバス認定要領(平成22年6月4日付け国自技第49号又は平成27年7月2日付け国自技第75号)に基づく認定を受けたもの)又は非標準仕様の別を記載すること。
2. 「乗車定員」については、座席数(運転席を含む)に立席数を加えた数を記載すること。なお、立席は座席を除いた面積を1人当りの専有面積0.14平方メートルで除した数とする(道路運送車両保安基準第24条、第53条)。
3. 「再編特例措置」については、地域公共交通再編実施計画の認定を受け、地域内フィーダー系統に係る特例措置の適用(別表9)を受けた補助対象系統の運行の用に供する場合のみ「○」を記載する。
4. 「購入年月」については、初年度については購入予定年月を記載すること。
5. 「購入等の種別」については、一括、割賦又はリースの別を記載すること。

【表1 添付書類】
運行予定系統図（下多寄）



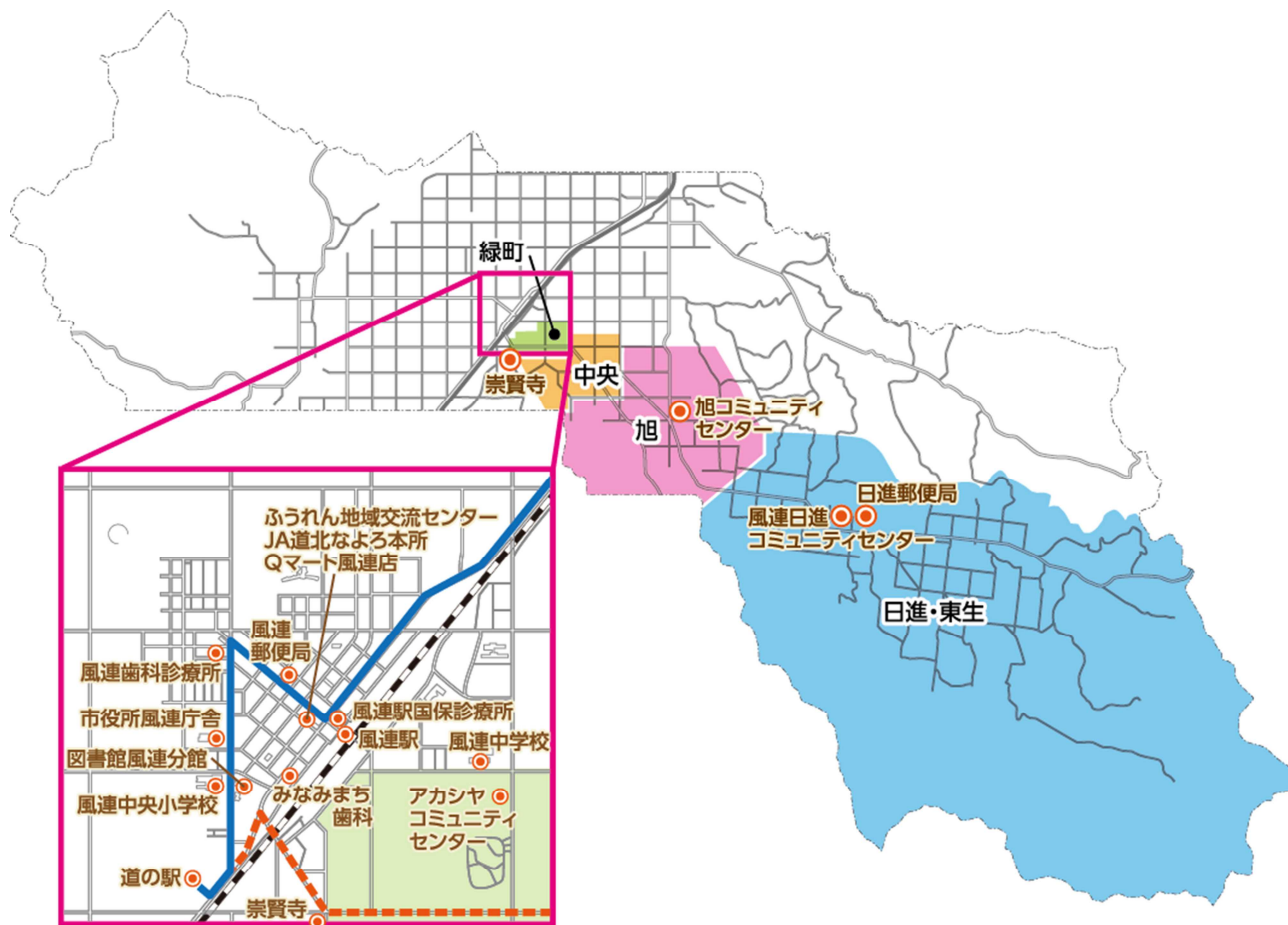
運行系統

各自宅 ⇔ 指定施設

<指定施設一覧>

- | | | |
|----------------|-----------------|----------------|
| ● JR名寄駅 | ● 名寄市役所名寄庁舎 | ● 風連国民健康保険診療所 |
| ● 名寄市立総合病院 | ● 市立名寄図書館 | ● 道の駅もち米の里☆なよろ |
| ● 名寄東病院 | ● 名寄市北国博物館 | ● 名寄市役所風連庁舎 |
| ● 吉田病院 | ● 市民文化センター | ● 風連歴史民俗資料館 |
| ● 名寄三愛病院 | ● 名寄郵便局 | ● 風連郵便局 |
| ● 名寄中央整形外科 | ● 名寄公共職業安定所 | ● 瑞生コミュニティセンター |
| ● 片平外科・脳神経外科 | ● 名寄市総合福祉センター | ● 風連中学校 |
| ● たに内科クリニック | ● 名寄高等学校 | ● ふうれん地域交流センター |
| ● イオン名寄SC | ● 産業高等学校光凌キャンパス | ● 下多寄小学校 |
| ● 徳田ショッピングセンター | ● 西2条6丁目 | ● 風連歯科診療所 |
| ● 西條名寄店 | ● 西3条6丁目 | ● みなみまち歯科 |
| ● ラルズマート名寄店 | ● J A道北なよろ名寄支所 | ● なよろ眼科 |
| ● ファッションプラザ山田 | ● JR風連駅 | ● まつき歯科医院 |

【表1 添付書類】
運行予定系統図（御料）



<乗降指定場所>

- J R 風連駅
- 風連国民健康保険診療所
- 道の駅もち米の里☆なよろ
- 名寄市役所風連庁舎
- 図書館風連分館
- 風連郵便局
- 風連中央小学校
- 風連中学校
- ふうれん地域交流センター
- 風連歯科診療所
- みなみまち歯科
- Q マート風連店
- JA 道北なよろ
- 崇賢寺
- 日進コミュニティセンター
- 旭コミュニティセンター
- 日進郵便局
- まつき歯科医院
- アカシヤコミュニティセンター

運行時刻表及び利用料金

○下多寄線

<運行時刻表>

対象エリアの各自宅～指定の施設

	各自宅	指定の施設
1便	7:30	8:15
2便	8:45	9:30
3便	10:00	10:45
4便	13:15	14:00

指定の施設～対象エリアの各自宅

	指定の施設	各自宅
5便	11:00	11:45
6便	12:15	13:00
7便	14:15	15:00
8便	15:30	16:15
9便	17:30	18:15

<利用料金表>

(大人1人)

地区名	風連地区まで	名寄地区まで
風連2区	300円	600円
下多寄3区	300円	700円
下多寄4区	300円	700円
下多寄5区	300円	600円
風連豊里	300円	500円
西風連	400円	800円
共和	400円	400円
豊栄	500円	300円

利用料金の割引制度

- ・1歳未満の乳児については無料とする。
- ・高校生以下は利用料金の半額とする。
- ・身体障がい者手帳（1種・2種）、療育手帳（1種・2種）、及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方でバス運賃割引証明書の提示があった場合は、利用料金を5割引とする。

○御料線

<運行時刻表>

対象エリアの各自宅～指定の施設

	各自宅	指定の施設
1便	7:20	8:00
2便	9:40	10:20
3便	12:00	12:40
4便	13:50	14:30
5便	16:30	17:10

指定の施設～対象エリアの各自宅

	指定の施設	各自宅
6便	9:00	9:40
7便	11:20	12:00
8便	13:10	13:50
9便	15:50	16:30
10便	17:40	18:20

<利用料金表>

(大人1人)

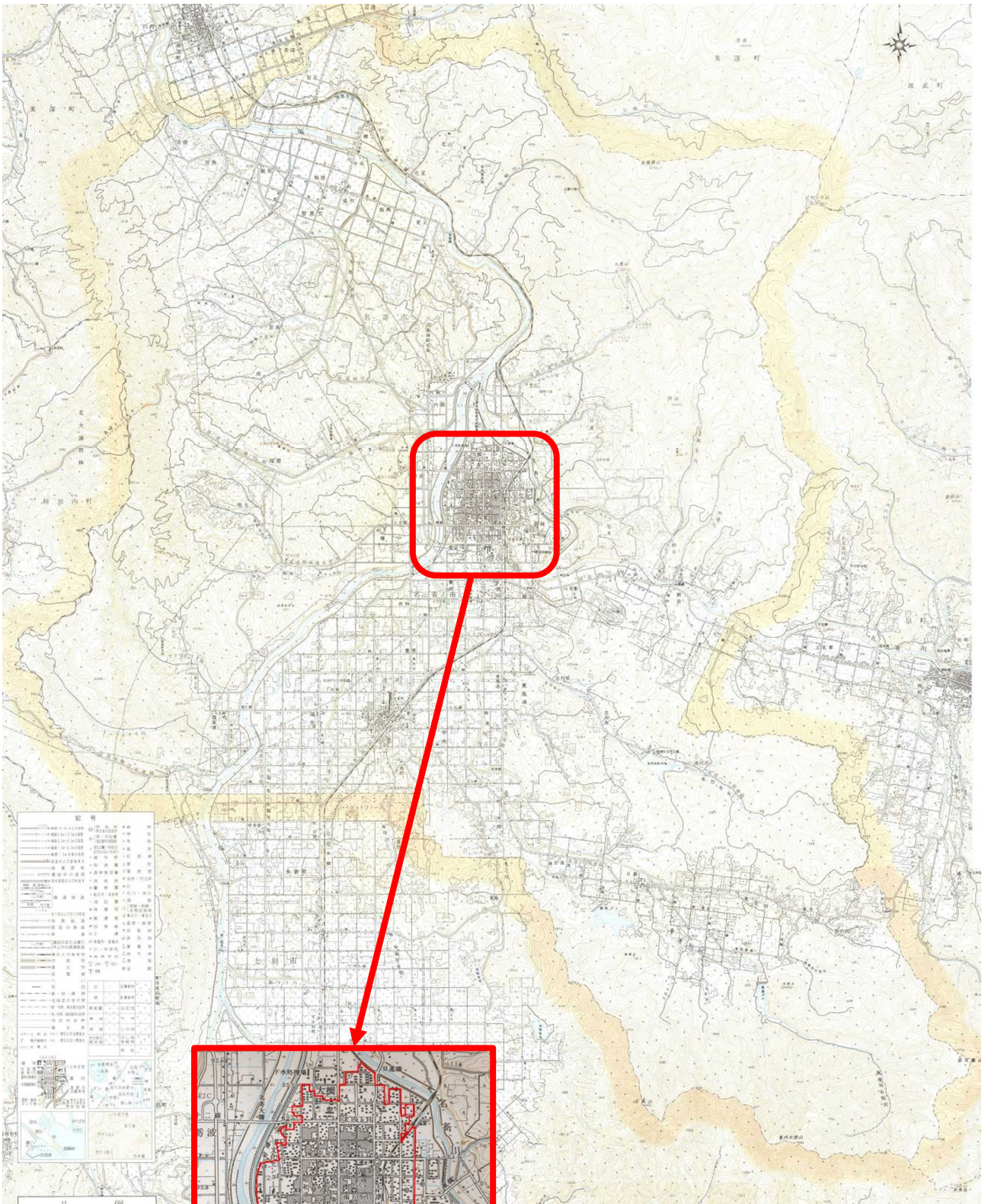
地区名	地区内	風連地区まで
緑町地区	200円	200円
中央地区	200円	250円
旭地区	200円	300円
日進・東生地区	200円	400円

<利用料金の割引制度>

- ・デマンド型交通利用者が風連線に乗り換えて名寄地区に向かう場合、もしくは名寄地区から風連線を利用しその後デマンド型交通を利用する場合、150円の割引を行う。
- ・1歳未満の乳児については無料とする。
- ・高校生以下は利用料金の半額とする。
- ・身体障がい者手帳（1種・2種）、療育手帳（1種・2種）、及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方でバス運賃割引証明書の提示があった場合は、利用料金を5割引とする。

【表5 添付書類】

人口集中地区以外の地区



人口集中地区



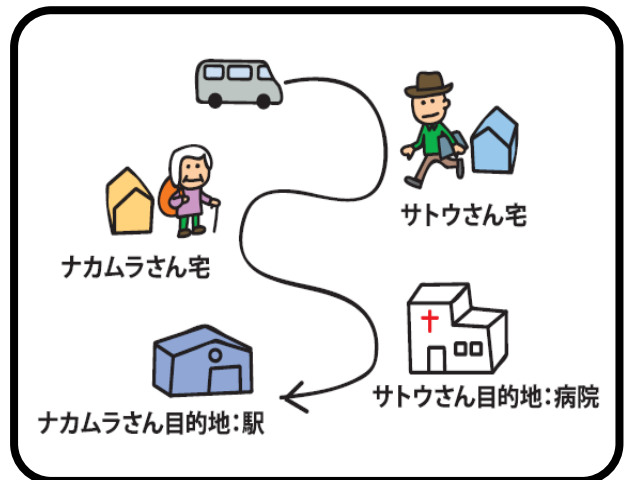
デマンドバス 下多寄線

通院・通学・買い物に便利

名寄市では、住民の皆さまの生活交通の利便性をより高めるため、あらかじめお電話などでご予約いただいた**対象エリア**の方々を、乗合方式で自宅から順番に、それぞれの**指定場所**まで送迎する「**デマンドバス**」が運行しています。

「デマンドバス」とは？

- デマンドバス対象エリア内では、決まった場所を走る従来のバスのような停留所ではなく、タクシーのように指定場所から目的地を決められます。
- タクシーのようにご自宅まで行きますが、バスのように複数の人が乗ります。そのため、タクシーより低料金で利用できます。



10月1日から新たに「まつき歯科医院」を乗降場所に追加しました。どうぞご利用ください

■市街地の乗降指定場所■

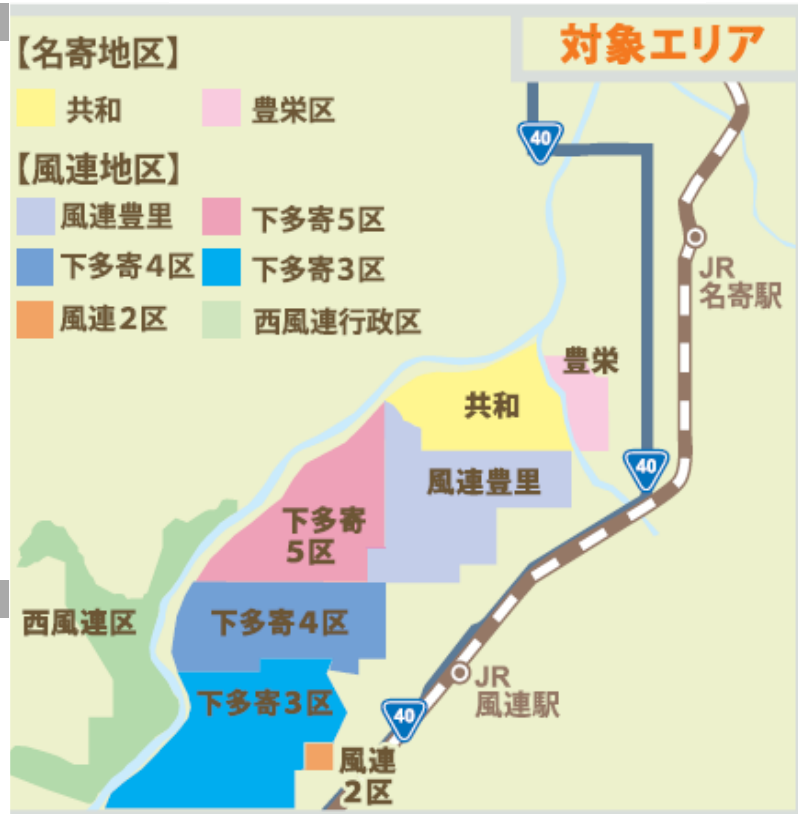
【名寄地区】

- | | |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR 名寄駅 <p>病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名寄市立総合病院 ● 名寄東病院 ● 吉田病院 ● 名寄三愛病院 ● 名寄中央整形外科 ● 片平外科・脳神経外科 ● たに内科クリニック ● なよろ眼科 <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名寄高等学校 ● 名寄産業高等学校 光凌キャンパス <p>ほか</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 西2条南6丁目 ● 西3条南6丁目 | <p>公共施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名寄市役所名寄庁舎 ● 市立図書館名寄本館 ● 名寄市北国博物館 ● 名寄市総合福祉センター ● 名寄市民文化センター ● 名寄公共職業安定所 ● 名寄郵便局 ● JA 道北なよろ名寄支所 <p>商業施設</p> <ul style="list-style-type: none"> ● イオン名寄ショッピングセンター ● 徳田ショッピングセンター ● 西條名寄店 ● ラルズマート名寄店 ● ファッションプラザ山田 |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

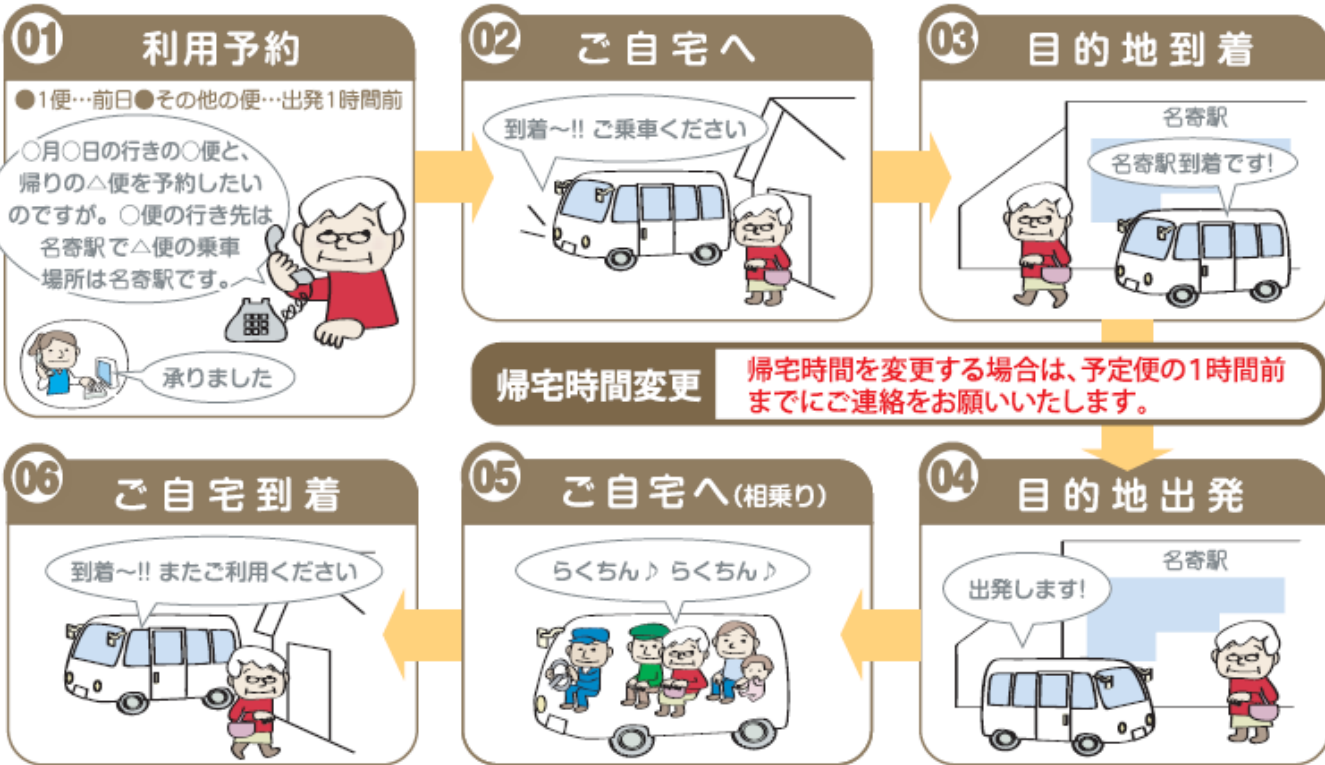
【風連地区】

- | | |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p>駅</p> <ul style="list-style-type: none"> ● JR 風連駅 <p>病院</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 風連国民健康保険診療所 ● 風連歯科診療所 ● みなみまち歯科医院 ● まつき歯科医院 <p>学校</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 風連中学校 ● 下多寄小学校 (旧) | <p>公共施設等</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 名寄市役所風連庁舎 ● ふうれん地域交流センター ● 風連歴史民俗資料館 ● 瑞生コミュニティセンター ● 風連郵便局 ● 道の駅もち米の里★なよろ |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

■利用対象エリア■



ご利用の流れ 事前予約が必要です



運行時間 予約について: 1便は前日まで、他の便は出発1時間前まで

往 路	1 便	2 便	3 便	4 便	
自宅 → 指定場所	7:30~8:15	8:45~9:30	10:00~10:45	13:15~14:00	
復 路	5 便	6 便	7 便	8 便	9 便
指定場所 → 自宅	11:00~11:45	12:15~13:00	14:15~15:00	15:30~16:15	17:30~18:15

利用料金 大人1名

※1歳未満の乳児は無料 ※高校生以下は料金半額 ※身障者手帳(1種・2種)、療育手帳(1種・2種)、及び精神障害者保健福祉手帳をお持ちでバス運賃割引証明書を提示された方は、料金半額。

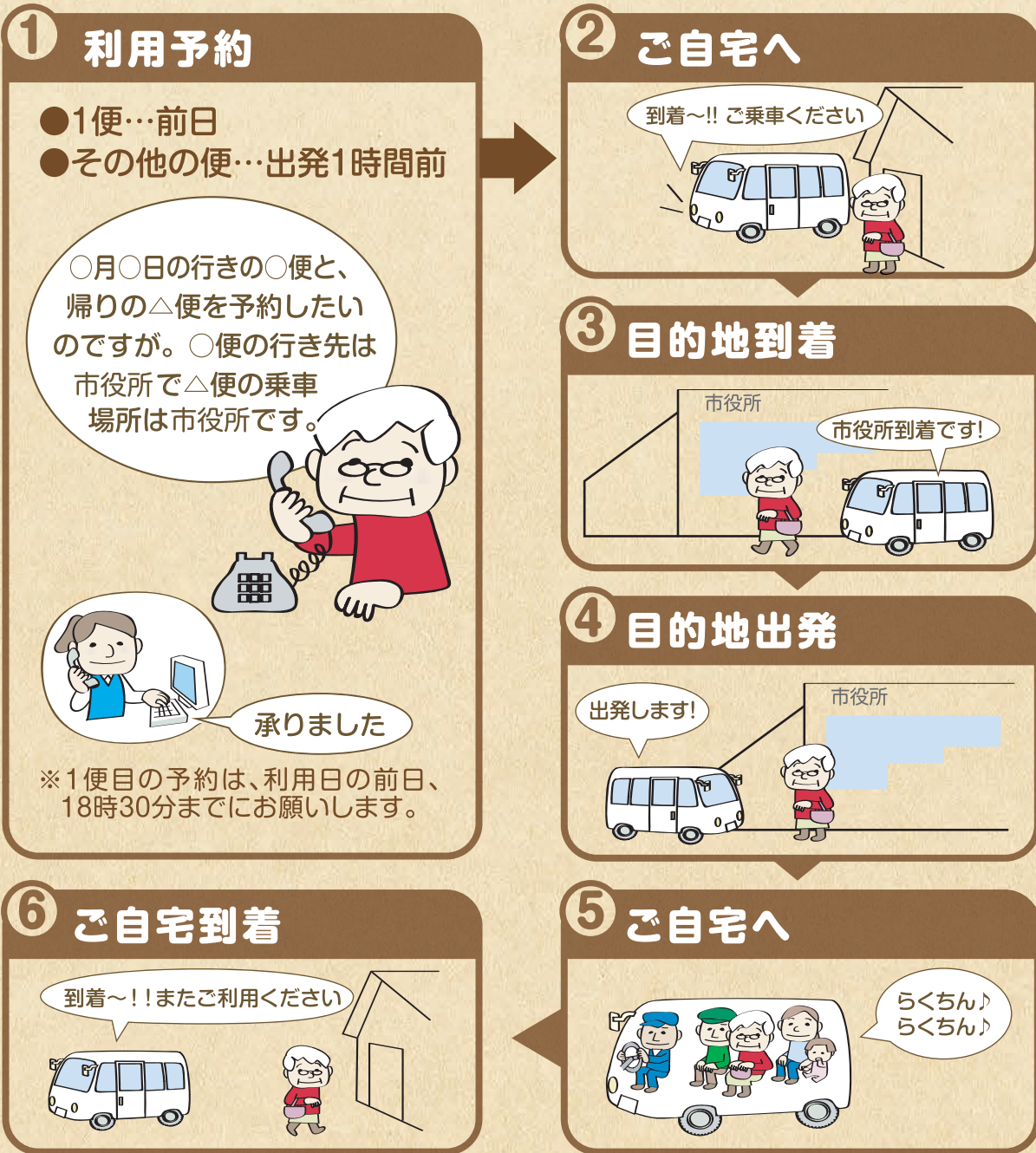
	風連 2区	下多寄 3区	下多寄 4区	下多寄 5区	風連 豊里	西風連	共和	豊栄
風連地区まで	300円	300円	300円	300円	300円	400円	400円	500円
名寄地区まで	600円	700円	700円	600円	500円	800円	400円	300円

●ご予約はこちら ※早朝の予約はお控えください
電話 01654-2-4151 FAX 01654-3-3891

- お電話の際は、「デマンドバスを利用」と教えてください。
- 予約後、ご自宅や乗降指定場所でバスの到着をお待ちください。
- 予約のキャンセル、変更をするときは、上記へすみやかに連絡をお願いいたします

利用方法

時間を変更したい時は、予定時間の30分前までに連絡をお願いします。



ご予約はこちら

名士バス株式会社 電話またはファクシミリでお申込み後、ご自宅まで到着をお待ちください。

- 予約受付時間 / 7:50~18:30
- 1便の予約申込 / 前日18:30まで
- 1便以外の予約申込 / 出発の1時間前まで ※帰りの利用便についても、予約申込をしてください。

☎ 01654-2-4151

☎ 01654-3-3891

予約のキャンセルや変更のときは、直ちにご連絡をお願いいたします

デマンドバスの 運行開始!

平成30年 10月1日(月)より

現在、名寄駅から風連日進地区まで運行している路線バス「風連御料線」は、風連市街地～風連日進地区間は利用者が少ない状況です。この状況を受け、平成29年12月～平成30年1月末までの2ヶ月間において、利用者が少ないエリアでのデマンドバスの実証運行を実施し、デマンドバスによるサービス向上や利用者数増加を確認することができました。

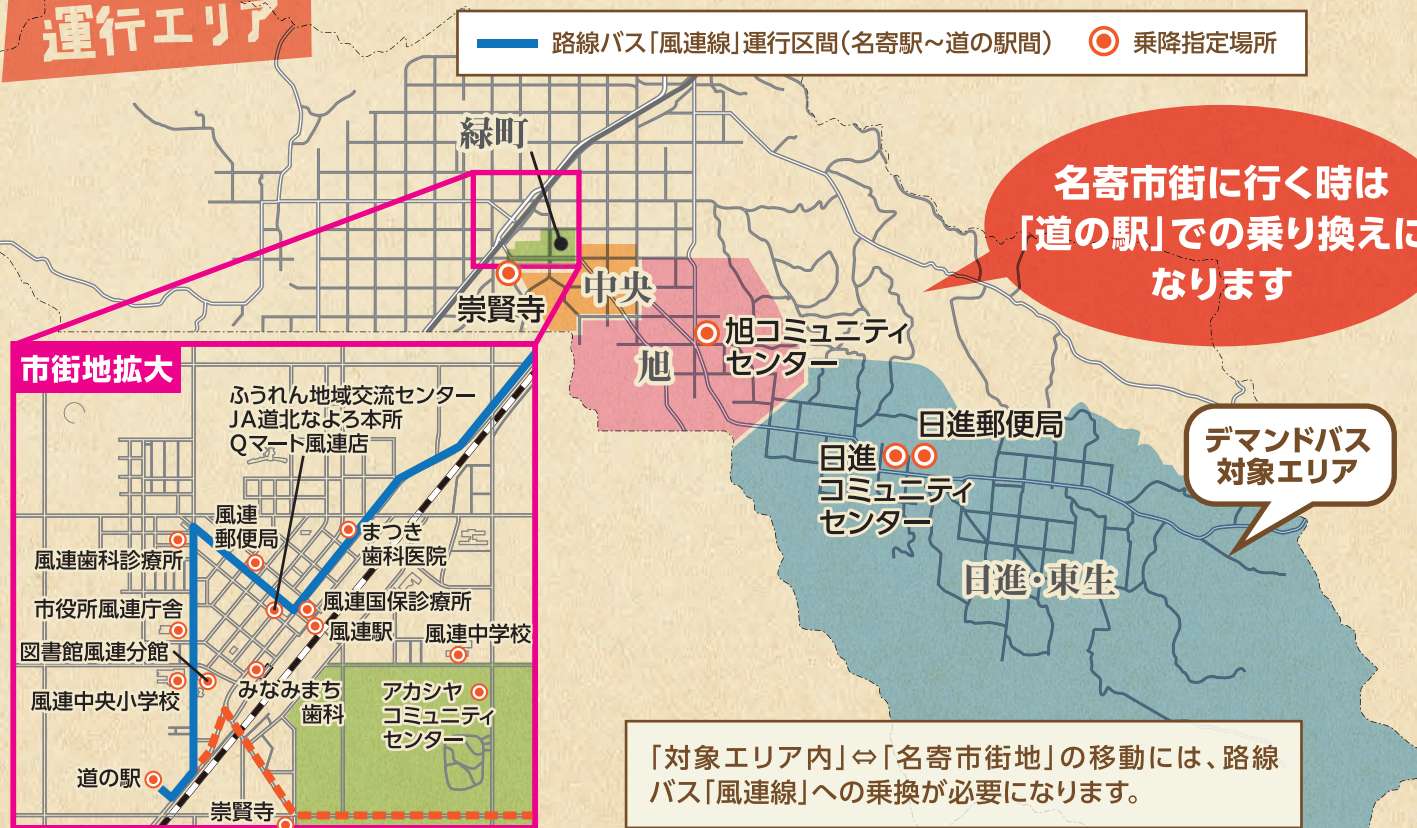
このことから、路線バス「風連御料線」は、平成30年9月30日をもって廃止し、平成30年10月1日以降は、電話で予約いただき、自宅から指定された施設まで運行する「デマンドバス」に切り替わります。

デマンドバスとは

デマンドバスとは、事前にお電話にて予約をしていただくことで、ご自宅から目的地まで送迎する、利便性の高い公共交通です。路線バスと同様に、1台の車両に他の利用者と「相乗り」していただくことで効率的な運行を行い、運賃を安価に設定しています。



運行エリア



乗降指定場所一覧

- ◆ 風連駅
- ◆ 風連国保診療所
- ◆ 風連中学校
- ◆ 風連中央小学校
- ◆ みなみまち歯科
- ◆ まつき歯科医院
- ◆ 風連歯科診療所
- ◆ 風連郵便局
- ◆ ふうれん地域交流センター
- ◆ JA道北なよろ本所
- ◆ Qマート風連店
- ◆ 市役所風連庁舎
- ◆ 図書館風連分館
- ◆ 道の駅
- ◆ 崇賢寺
- ◆ アカシヤコミュニティセンター
- ◆ 旭コミュニティセンター
- ◆ 日進コミュニティセンター
- ◆ 日進郵便局

料金

● デマンドバス料金表

	日進・東生	旭	中央	緑町
対象エリア内の移動	200円 (高校生以下:100円)	200円 (高校生以下:100円)	200円 (高校生以下:100円)	200円 (高校生以下:100円)
風連市街地までの移動	400円 (高校生以下:200円)	300円 (高校生以下:150円)	250円 (高校生以下:130円)	200円 (高校生以下:100円)

● 風連線料金表

名寄駅前	150円	150円	150円	170円	170円	340円	340円
西3条南6丁目	150円	150円	170円	170円	340円	340円	
市立病院	150円	170円	170円	340円	340円		
17線	150円	150円	340円	340円			
名寄高校前	150円	280円	280円				
19線	280円	280円					
風連駅前	150円						
道の駅							

※1歳未満の乳児については無料となります。
 ※高校生以下は利用料金の半額となります。
 ※身体障がい者手帳(1種・2種)、療育手帳(1種・2種)、及び精神障がい者保健福祉手帳をお持ちの方でバス運賃割引証明書の提示があった場合は、利用料金が半額となります。

運行時間

● デマンドバス

対象エリア内⇒風連市街地(◎乗降指定場所)

往路	運行時間帯	往路	運行時間帯
1便	7:20~8:00	4便	13:50~14:30
2便	9:40~10:20	5便	16:30~17:10
3便	12:00~12:40		

風連市街地(◎乗降指定場所)⇒対象エリア内

復路	運行時間帯	復路	運行時間帯
6便	9:00~9:40	9便	15:50~16:30
7便	11:20~12:00	10便	17:40~18:20
8便	13:10~13:50		

● 風連線

名寄→風連→道の駅

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
名寄駅前	8:50	11:10	13:00	15:40	17:30
西3条南6丁目	8:52	11:12	13:02	15:42	17:32
市立病院	8:53	11:13	13:03	15:43	17:33
17線(ショッピングセンター入口)	8:57	11:17	13:07	15:47	17:37
名寄高校前	8:59	11:19	13:09	15:49	17:39
19線(ベストホーム)	9:01	11:21	13:11	15:51	17:41
風連駅前	9:10	11:30	13:20	16:00	17:50
道の駅	9:13	11:33	13:23	16:03	17:53

道の駅→風連→名寄

停留所名	1便	2便	3便	4便	5便
道の駅	7:52	10:12	12:32	14:22	17:02
風連駅前	7:55	10:15	12:35	14:25	17:05
19線(ベストホーム)	8:02	10:22	12:42	14:32	17:12
名寄高校前	8:04	10:24	12:44	14:34	17:14
17線(ショッピングセンター入口)	8:06	10:26	12:46	14:36	17:16
市立病院	8:10	10:30	12:50	14:40	17:20
西3条南6丁目	8:11	10:31	12:51	14:41	17:21
名寄駅前	8:15	10:35	12:55	14:45	17:25

乗継割引

デマンドバス利用者が風連線に乗り換えて名寄地区に向かう場合(往路)、もしくは名寄地区から風連線を利用しその後デマンドバスを利用する場合(復路)、デマンドバスの利用料金について150円の割引を行います。
 ※名寄方面に向かう場合は、予約時に乗継の有無をお伝えください。
 ※名寄方面から日進方面に向かう場合、風連線の運転手から、「乗車証明書」をお受け取りください。

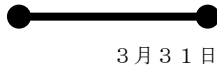
【例】日進地区にお住まいの方が名寄駅まで行く場合



生活交通改善事業計画（バリアフリー化設備等整備事業）

令和 年 月 日
(名称) 名寄市地域公共交通活性化協議会
(代表者名) 会長 橋本正道

1. 生活交通改善事業計画の名称
ユニバーサルデザインタクシー車両導入計画
2. バリアフリー化設備等整備事業の目的・必要性
今後、高齢化社会の進展や障害者の社会進出への対応は重要な課題である。このような中で、ドア・ツー・ドアの運送を行うことができるタクシー事業の必要性・存在意義は増していくと考えられる。 また、頻発する自然災害リスクを踏まえ、災害時における迅速な避難および物資輸送を可能にするため、タクシー車両のバリアフリー化を緊急に実施する必要があると考えられる。 そのため、地域内のユニバーサルデザインタクシー車両を増加させることにより、タクシー事業者が上記課題に積極的に対応していく必要がある。
3. バリアフリー化設備等整備事業の定量的な目標及び効果
(1) 事業の目標
ユニバーサルデザインタクシー車両導入台数 令和3年度：1台
(2) 事業の効果
ユニバーサルデザインタクシー車両を導入することで、高齢者や障がい者の移動の円滑化が図られ、より利便性が高く、誰もが利用しやすい公共交通が実現するとともに、災害復旧・防災減災事業への対応も可能となる。
4. バリアフリー化設備等整備事業の内容と当該事業を実施する事業者
(1) 事業の内容：実施事業者（補助対象事業者）
(内容) ・ユニバーサルデザインタクシー車両の導入（令和3年度：1台）
(実施事業者（補助対象事業者）の身体・知的・精神の3区分における運賃割引率について) 株式会社三浦ハイヤー：身体・知的 各1割 精神 設定なし
(実施事業者（補助対象事業者）における特定地域又は準特定地域での減休車の状況について ※特定地域又は準特定地域外の事業者及び福祉限定事業者は記載不要

(2) 関連事項 (以下、〈 〉内の事業に該当する場合に記載)									
〈バス車両の導入に係る事業〉該当なし									
〈福祉タクシー車両・共同配車センターに係る事業〉									
●一般タクシーの代替でユニバーサルデザインタクシー車両を導入する事業									
道路運送法に係る事業計画上一般車両として届け出ているセダン車両の代替車両としてユニバーサルデザインタクシー認定制度の認定を受けた車両を導入する。									
〈バスターミナルに係る事業〉該当なし									
5. バリアフリー化設備等整備事業に要する費用の総額、負担者及びその負担額									
令和3年度 (当該年度)									
事業の名称	総事業費 割合	国費 割合	都道府県負担 割合	市区町村負担 割合	事業者負担 割合				
ユニバーサル デザイン タクシー車 両導入	3,600千円	600千円	千円	千円	3,000千円				
	100%	16.7%	%	%	83.3%				
合 計	3,600千円	600千円	千円	千円	3,000千円				
	100%	16.7%	%	%	83.3%				
※総事業費については見込み額を記載 ※列記の者以外に費用負担者がいる場合は、適宜修正の上、全体構成が分かるように記載。									
6. 計画期間									
以下項目別に概ねの着手・実施期間を矢印 (←→)、または横棒線 (——) で記載。 ●で年度ごとの事業着手日、事業完了日を記載									
事業の名称	令和3年度			令和4年度			令和5年度		
	4月	9月	12月 3月	4月	9月	12月 3月	4月	9月	12月 3月
ユニバーサルデ ザインタクシー 車両導入	交付決定の日着手  3月31日完了								
7. 協議会の開催状況と主な議論									
平成21年 5月 1日 地域公共交通活性化協議会設立 令和3年5月20日 本計画に合意 (R3 第1回)									

8. 利用者等の意見の反映	
・利用者からユニバーサルデザインタクシー車両の充実を求める声が事業者に届いている。	
9. 協議会メンバーの構成員	
市民及び交通利用代表者	公募市民 名寄市町内会連合会 名寄市老人クラブ連合会 名寄市PTA連合会 名寄市社会福祉協議会 名寄市立大学 学生自治会 名寄商工会議所 風連商工会 住民ニーズに基づいた公共交通のあり方研究会
行政機関の代表者	北海道運輸局旭川運輸支局 北海道開発局旭川開発建設部土別道路事務所 北海道上川総合振興局地域政策部地域政策課 上川総合振興局旭川建設管理部土別出張所 北海道警察旭川方面名寄警察署
一般旅客運送事業者の代表者	北海道旅客鉄道株式会社 旭川支社名寄駅 名士バス株式会社 三浦自動車有限会社 名寄交通株式会社 有限会社川原観光 道北バス株式会社
一般旅客自動車運送事業者の運転手が組織する団体の代表者	日本私鉄労働組合総連合会北海道地方労働組合 名士バス支部
副市長	名寄市

■注意事項

・総合連携計画等の既存の計画を活用する場合は、上記の事項について記載のある計画をそのまま活用することでもよい。ただし、記載されていない事項については追記すること。

【本計画に関する担当者・連絡先】

(住 所) 名寄市大通南1丁目1番地
 (所 属) 総合政策部総合政策課総合政策係
 (氏 名) 主査 成田 拓哉
 (電 話) 01654-3-2111
 (e-mail) narita-takuya@city.nayoro.lg.jp

名寄市地域公共交通活性化協議会設置要綱の一部改正について

【提案理由】

名寄市の組織機構の変更に伴い、総合政策部総合政策課へ組織名称を変更するもの。

(改正前)

第7条 協議会は、協議会の運営に関する事務を行うため、名寄市総務部企画課内に事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長を置き、名寄市総務部長をもって充てる。
- 3 事務局員は、名寄市総務部企画課職員をもって充てる。

(改正後)

第7条 協議会は、協議会の運営に関する事務を行うため、名寄市総合政策部総合政策課内に事務局を置く。

- 2 事務局に事務局長を置き、名寄市総合政策課長をもって充てる。
- 3 事務局員は、名寄市総合政策部総合政策課職員をもって充てる。